

染め方

ゴム手袋の着用をおすすめします
(Tシャツ1枚を染める場合は、
下記の分量が半分になります。)

染色ポイント

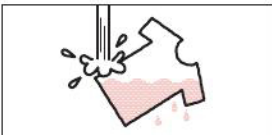
- 淡色にするには染料を減らす(助剤は規定量を使用する)
- 染料は自由に混色できる

- 濃くする方法(1~3の組み合わせ可)
- 1. 染色温度を上げる(90°C以上の加熱染色)
- 2. 染料および助剤を増やす(1.5~2倍 ※助剤も同比率で増やす)
- 3. 染色時間を長くする(30~60分くらい)

植物繊維 など

(綿・麻・レーヨン・キュプラ・ビニロン)

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の1ℓくらいの耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(85°C以上)を約9.5ℓ用意し、②の染料と、塩約80gを加え、計約10ℓとします。

④ 布を入れ、20~30分染める

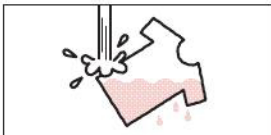


濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20~30分染めます。

動物繊維 など

(絹・毛(ウール)・ナイロン)・
(ポリウレタン・アセテート混紡品)
※繊維の性質上、急な温度変化や、粗雑な扱いを
すると、繊維が縮むのでご注意ください。

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の1ℓくらいの耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(85°C以上)を約9.5ℓ用意し、②の染料と、酢約130mlを加え、計約10ℓとします。

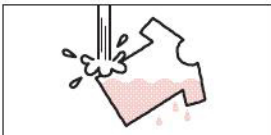
④ 布を入れ、20~30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20~30分染めます。
※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアイミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

ポリエステル・ ポリエステル混紡品

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の1ℓくらいの耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(85°C以上)を約9.5ℓ用意し、②の染料を加え、計約10ℓとします。
※植物繊維などの混紡品はここで塩約80gを、動物繊維などの混紡品は酢約130mlを加えてください。
※別売の「濃色促進剤」を使用するとより濃く染まります。

④ 布を入れ、20~30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20~30分染めます。
※加熱染色(90°C程度)すると濃く染まります。

植物・動物繊維の混紡品

混紡品を染めるときは、それぞれの繊維に必要な助剤(塩と酢)を併せて使います。
△ 助剤を入れる順番を間違えると染まりません。

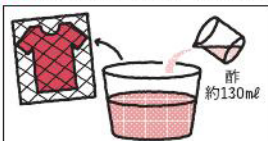
植物繊維の工程の①~③

④ 布を入れ、10~20分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約10~20分染めます。
※毛糸・毛織物は縮みやすいので、静かにかきまぜながら染めます。また、目の粗いアイミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

⑤ 布を取り出して酢を入れる



布を取り出した染め液に酢約130mlを加えます。

⑥ 布を入れ、10~20分染める



布を染め液に戻して、さらに約10~20分染めます。

ソーピング(洗い)へ

① ぬるま湯で洗う



染め液から取り出し、ぬるま湯(30°C以上)で軽くすすいだあと、台所用液体中性洗剤を溶いたぬるま湯で洗います。
※毛(ウール)・ポリエステルは急な温度変化を与えると、繊維が縮みますので、少しずつ温度を下げて洗ってください。

② 水ですすぐ



さらに水ですすぎます。

色止め

植物繊維 など

綿・麻・レーヨン・キュプラ:混紡品は別売の「色止剤ミカノール」で色止めすると洗濯での色落ちを減らせます。※ビニロンは色止め不要です。

動物繊維 など

ポリエステル
色止め不要です。

③ かげ干して完成



◆アイロンをかけるときは当て布をする
と繊維が潰れず
綺麗に仕上がります

脱水してかげ干し、アイロンをかけたら完成です。
※染色したものと他のものを一緒に洗濯することは避けください。